



後谷同好会



新友会



学友会



西流会



童心会



東和会



2



3



4



6



5



7

新門下子ども会



豊穰・無病息災を願い、それぞれの地区を練り歩きました。声を枯らしながら一体となって山笠を押し続けた昇き手たち。最終日の夕日が沈むまで、囃子の音色や山笠を引く威勢の良い掛け声が地区にこだまし、今年もその活況を多くの人の心に焼き付きました。

5月4日から2日間行われた両社の神幸祭は、白鬚神社から4基、赤坂神社から2基と子ども山笠1基が出揃い、地域をあげて盛大に催されました。江戸時代からの歴史を重んじ、多くの観客に見守られながら神事を遂行。工夫を凝らした個性豊かな山笠が、五穀

伊方地区で脈々と受け継がれてきた伝統行事、赤坂神社と白鬚神社の神幸祭。今年も5月の大型連休中に盛大に催され、待ちわびて迎えた初夏の陽気を華やかに彩りました。例年行われている山笠競演会は雨天のため、残念ながら中止となりましたが、4日の夜は5基の山笠が中古門地区のやすらぎ館前に集結。戦国武将などをあしらった山笠がきらびやかな電飾をまとい、詰めかけた観客から惜しみない歓声と拍手を浴びました。

# 赤坂神社 白鬚神社 神幸祭 2016

初夏の到来を告げる伊方の祭り。今年も地域をあげて催され、囃子の音色や昇き手たちの勇壮なかけ声が相まって、地区全体を祭り一色に染めました。



1 最終日の夕方、両神社前に集結し、互に通せんぼしあう山笠 2 昇き手の心をかきたてるように響きわたる囃子の音 3 この日のために練習を重ねた稚児舞を披露する中古門子ども会 4 間近に迫った獅子の迫力に思わず大泣き 5 祭りの支柱である神輿を勇ましく担ぐ白衣の男衆 6 7 山笠の間を縫うように両神社に帰る神輿

